

# 2025年 第54回東久留米市民文化祭 オープニング式典・特別公演 東久留米交響楽団演奏会

E.エルガー

行進曲「威風堂々」第一番

L.v.ベートーヴェン  
ロマンス 第2番

E.グリーグ

劇付随音楽「ペール・ギュント」より

ほか

指揮 征矢 健之介

ヴァイオリン独奏 塗矢 真弥

2025年10月18日(土)

オープニング式典・特別公演 13:00~

東久留米市立生涯学習センター

まるにえホール 入場整理券が必要です ※

※注：右記QRコードから  
入場整理券を取得できます。  
9月24日（水）から文化協会  
事務局（生涯学習センター内）  
でも配布いたします。

主催：東久留米市教育委員会  
共催：NPO法人東久留米市文化協会  
市民文化祭実行委員会



指揮者による演奏楽曲解説会  
10月13日（月・祝）14:00~  
市民プラザホール



# 指揮：征矢健之介

1954年、長野県生まれ。早稲田大学教育学部を経て、武蔵野音楽大学器楽科ヴァイオリン専攻卒業。これまでにヴァイオリンを萩原耕介、ルイ・グレーラー各氏に師事。東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団第一ヴァイオリン奏者をつとめた。

早くからアマチュアオーケストラへの教育指導活動にも熱心に取り組み、早稲田大学フィルハーモニー管弦楽団のトレーナー兼相談役を務め、早稲田大学OBオーケストラ、Ensemble Musik-quellchen (EMQ)、ニューイヤー祝祭管弦楽団、伊那フィルハーモニー管弦楽団などの指揮・指導を行ってきた。近年では音楽評論家としても活躍中。東久留米交響楽団へは長年指導者として参与し、2023年よりタクトを取ることとなった。



# ヴァイオリン独奏：塗矢真弥

ヴァイオリンを広瀬八朗、海野義雄、Tibor Varga、室内楽を青木十良の各氏に師事。英国ABRSMのLicentiate of the Royal Schools of Music演奏家ディプロマ取得。日本演奏連盟とNHKのオーディションに合格し、東京文化会館における「えんれんコンサート」、NHK-FM「フレッシュ・コンサート」に出演。東京交響楽団(秋山和慶氏指揮)、名古屋フィルハーモニー(飯守泰次郎氏指揮)など、ソリストとして各地のオーケストラと共演。

2014年まで東京ユニバーサル・フィルハーモニー管弦楽団のコンサート・マスターを務め、現在は様々なオーケストラからゲスト・コンマスとして招かれている。室内楽ではストリング・カルテットアンサンブル☆ステラおよび東京ベートーヴェン・カルテット第1ヴァイオリン、STAR QUARTET第2ヴァイオリンと、現在3つの弦楽四重奏団で活動している。また、ライフワークとしてのリサイタル活動も長年に渡り続けている。東久留米交響楽団とは第5回定期演奏会(1996年)以来、たびたびコンサートマスターとして指導してきた。



# 管弦楽：東久留米交響楽団

東久留米交響楽団は1992年に東久留米市民を中心としたアマチュア演奏家が集まって設立されました。以後30年余にわたり、年1回の定期演奏会を中心に、東久留米市公民館(現：生涯学習センター)開館10周年記念第9演奏会や秋の室内楽演奏会など、地元に着目した演奏活動を行って参りました。

これまでに指揮者の中西義忠氏、田中良和氏などのご指導・薫陶を受け、演奏の水準も徐々に向上してきたことから、ピアニストの梯剛史氏やヴァイオリニストのジェラルド・プーレ氏など、世界的に活躍される巨匠たちとの共演の機会も得られました。

当楽団の特色は、練習を市内の公共施設にて、仕事に影響されにくい日曜日の夜に設定している事、また初心者も含め、どなたでも団員として参加ができるように努力をしている事です。現在も東久留米市内外の会社員、公務員、教師、医師、学生、主婦、定年退職者、大学オケOBなど、幅広い分野と年齢層の団員で活動を続けています。市内外の多くの方々のご来訪、ご参加を心よりお待ちしております。

HP：<https://higashikurumeso.org>

(右のQRコードから、当団ホームページ及び、団員募集のページにアクセスできます。)

